

児童発達支援ガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2024年12月
結果公表日: 2025年3月27日

回答率

事業所職員: 5名回答、回答率 100%
保護者様: 2名回答、回答率 100%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・常に1人の職員は対象児童に対して支援をあたれるよう、他児童の送迎時間を考慮しながら支援をおこなっている。
- ・靴箱や本棚の角にはクッションシートを貼ったり、トイレの壁には手すりがある等、怪我を防ぐための構造がなされている。

○業務改善

- ・ガイドライン評価表で出た評価・意見を教室内で取り上げ、可能なものから随時改善に努めている。
- ・行政の巡回指導などを通じ、第三者から見た意見を業務に還元している。

○適切な支援の提供

- ・全職員が支援内容、課題、目標を把握した上で支援にあたっている。
- ・個別支援計画は全職員が見ることのできるファイルに保管している。
- ・様々な療育活動の実施が行える様に職員で担当の振り分けを行い、チーム全体で立案をしている。

○関係機関や保護者との連携

- ・送迎時には当日の様子を直接お伝えしている。連絡帳の記載はその日の様子をなるべく細かく記載し、必要に応じて担当職員からお電話で様子をお伝えすることもある。
- ・自宅にお迎えに行くことが多いため、幼稚園や保育園との直接的な関わりが少ない。スマートキッズ以外での様子は保護者様から情報共有していただくことが多い。

○保護者への説明責任等

- ・保護者から何か相談があれば、職員間で話し合い、特性に応じた助言やアドバイスを行っている。
- ・細かく支援内容の説明を行い、ご納得頂いたうえで書類に署名・サインを頂いている。

○非常時等の対応

- ・防災点検表などで備蓄がしっかりあるか、期限は大丈夫か等定期的に確認を行っている。
- ・災害時等の緊急時に備えて避難訓練を実施し、避難方法を学習できる機会をつくっている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・『スペースが十分に確保されているか』という質問では「教室が狭く感じる」とのご意見をいただいた。
- ・『生活空間は清潔に保たれているか・分かりやすく構造化されているか』という質問には全ての方から良い評価をいただくことができた。

○適切な支援の提供

- ・『子どもの特性に応じた支援が受けられていると思うか』『ニーズや課題が分析された個別支援計画の作成がされていると思うか』といった質問では、全ての方から「はい」と良い評価をいただいた。
- ・『保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、その他地域で他の子どもと交流する機会がありますか』という質問に対しては、実施できていない面もあるため「わからない」との回答もみられた。

○保護者への説明等

- ・『事業所を利用する際に丁寧な説明があったか』という質問や『日頃から子どもの状況を伝えあい共通理解が出来ているか』などの質問では、多くの方から良い評価をいただくことができた。
- ・『保護者会の開催や保護者交流の機会を設けていると思うか』『定期的に活動概要などが発信されていると思うか』などの質問に対しては「わからない」という回答もいただいた。

○非常時等の対応

- ・『非常時の対応』に関する質問項目ではほとんどの質問に対して「わからない」の回答がみられた。

○満足度

- ・『子どもは安心感をもって通所しているか』『事業所の支援に満足しているか』の質問には全ての方から「はい」と回答していただくことができた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・小学生と一緒に安心して、集団療育やおやつに参加できるよう、児童の特性や発達段階に応じた支援の工夫や配慮を行っていく。
- ・幼稚園や保育園、進学先の小学校と機会があれば連携を行っていく。
- ・来年度以降も定期的に保護者会を開催、オンライン参加なども含めて保護者向けの研修のご案内を行い、保護者同士の交流の場や研修機会を設ける。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・送迎サービスの開始に伴い、より小学生の児童と一緒に過ごす環境づくりが出来た。
- ・保護者のニーズを確認しながら、発達段階に応じた支援の工夫として小学生と一緒に集団療育の実施やおやつ提供を行うことが出来た。
- ・幼稚園や保育園との情報交換の機会はまだ不十分であるため、課題として残っている。
- ・次年度も保護者同士が交流しやすい場を設ける必要がある。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・トイレには手すりがあり、面積も広いため、トイレトレーニングや着替えなどのサポートがしやすい環境であり、過ごしやすい生活環境での支援提供が行なえている。
- ・送迎サービスで入室した後に、放デイの小学生児童と一緒に集団療育を行なえているため、保護者のニーズを確認しながら就学後のイメージが持ちやすい状態で支援を実施出来ている。
- ・支援や子どもの発達状況などの保護者連携をこまめに行なえている為、支援に繋がられている。

○改善点

- ・送迎時にはご自宅にお伺いすることがほとんどであるため、園での様子や状況をお伺いしたり、園との交流を図る機会を作れていない。ご自宅だけでなく保育園・幼稚園での様子や相談事を共有しやすい時間や機会を作っていく必要がある。
- ・ブログやニュースレターなどを用いて、日頃の活動概要や非常時の対応に関してを分かりやすく伝える手段を検討していく必要がある。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・新たな取り組みについては、職員間で目的理解・共通認識を持った上で支援を実施し、保護者の方へ送迎時の説明だけでなくお便りなどを用いて分かりやすいお伝え方法を検討する。
- ・ブログを定期的に更新する事で、日頃の様子や活動概要などを発信していく。
- ・保育園や幼稚園などの関係機関との連携の機会を設ける。
- ・保護者会の開催等を通して保護者交流の機会を作っていく。

○1年間で取り組む具体策

- ・定期的な教室研修の実施で、新たな取り組みや支援に関する情報共有や改善策を検討し、より良い支援の提供につなげる。
- ・支援に関することや、運営に関することなど内容に合わせて保護者周知方法を検討し保護者の方がしっかりとご理解していただける手段で発信していく。
- ・定期的にブログの更新を行い、活動概要などの発信を行う。
- ・学校や他事業所との情報交換会に積極的に参加し、知識向上に努める。
- ・年1回以上の保護者会開催により、保護者交流の機会を設定する。